

# 安全データシート

## 1. 化学品および会社情報

製品の名称 : AKクリーン 塩素系アルカリ洗剤  
供給者の会社名称 : 青葉化成株式会社  
住所 : 宮城県仙台市泉区大沢三丁目2番地5  
電話番号 : 022-346-1301  
FAX番号 : 022-772-2030  
整理番号 : G1-134

## 2. 危険有害性の要約

### 【化学品のGHS分類】

物理化学的危険性

金属腐食性化学品 区分1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分1

水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

\*上記で記載がない危険有害性は、「分類できない」「区分に該当しない」

### 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ

重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

### 【安全対策】

他の容器に移し替えないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取り扱い後は十分に手洗いをすること。

環境への放出を避けること。

### 【応急措置】

物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

漏出物を回収すること。

#### 【保管】

耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

内容物／容器等を都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 重篤な徴候および想定される非常事態の概要

#### 人の健康に対する有害な影響

- ・吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激し、処置が遅れるとしわがれ声、咽喉部の灼熱感、激しい咳、肺浮腫を生ずる。
- ・皮膚に付着した場合、強い刺激作用があり、処置が遅れると皮膚が侵され熱傷にいたる。低濃度溶液でも水分の蒸発により同様な症状を起こす。
- ・眼に入った場合、激しい痛みを感じ、処置が遅れるとその程度によって結膜や角膜が侵され視力低下あるいは失明にいたる。
- ・飲み込んだ場合、口腔・食道・胃部の灼熱感がある。濃い液を多量に飲み込んだ場合、処置が遅れると生命にかかわる。
- ・酸と反応して発生した塩素ガスが眼や皮膚に接触すると炎症を起こす。また、吸入すると呼吸困難となり、多量に投入した場合は生命にかかわる。

#### 環境への影響

- ・大量に流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

#### 物理的及び化学的危険性

- ・酸性物質と反応し中和熱を発生する。
- ・すず、亜鉛などの金属と反応し、爆発性のある水素ガスを発生する。
- ・次亜塩素酸塩を含有しているため、酸性物質と反応し塩素ガスを発生する。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学品又は一般名：食品工業用液体塩素系アルカリ洗浄剤

成分(主成分/危険有害物質対象)	官報公示整理番号	CAS 番号	含有量
水酸化カリウム	化審法1-369	1310-58-3	約1.0%~5.0%

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 万一有害な塩素ガスを吸い込んだときには、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動して安静にし、直ちに医師の処置を受ける。  
ミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。  
何らかの異状を感じたときには直ちに医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
- その他 : 使用中、目に異状を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- いずれの場合も、医師への受診時には、製品または製品安全データシートを持参する。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防装置 : 消火作業では適切な保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。  
: 漏出場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに多量に排出されないように注意する。
- 封じ込めおよび浄化方法および機材 : スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する。  
回収した跡、または回収できないものは、多量の水で十分に洗い流す。  
洗浄水は還元剤（チオ硫酸ナトリウムなど）を用いて還元処理した後、酸（希硫酸など）で中和してから排出する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い（技術的対策／安全取扱い注意事項／接触回避／衛生対策）

- ・作業や製品容器の取扱い時は必ず適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護靴、保護衣、保護マスク等）を着用する。
- ・特有の臭気を有しているため、作業中の換気に注意する。
- ・使用時は製品が飛散しないように丁寧に扱う。
- ・使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。
- ・キャップを開けるときの液が飛び出すことがある。また、容器を移動するときはキャップをしっかり閉める。緩んでいて液が跳ねて眼や皮膚に付くことがある。
- ・用途以外には絶対に使用しない。
- ・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
- ・誤飲等事故のおそれがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
- ・倒したり、こぼしたりしないように注意する。
- ・使い終わった容器は、十分に洗ってから処理する。
- ・排水は残留塩素・アルカリの順で中和処理する。

保管（安全な保管条件／安全な容器包装材料）

- ・直射日光、40℃以上、多湿及び凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。
- ・子供の手の届かないところに保管する。
- ・酸性物質と同じ場所に保管しない。
- ・横倒しの状態で輸送及び保管しない。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めることに従う。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : 水酸化カリウム:2mg/m<sup>3</sup>

設備対策 : ミスト、蒸気などが滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸器用保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋（ゴム手袋など）
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護靴（ゴム長靴など）、保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡黄色透明
臭い	: 塩素臭
融点／凝固点	: 0℃以下
沸点または初留点および沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし（不燃性）
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 11.7（1%、25℃）
動粘性率	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度および／または相対密度	: 1.11（25℃）
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

有効塩素 : 3.8~4.8% (製造時)

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 次亜塩素酸塩を含有しているため、酸性物質と反応し塩素ガスを発生する。  
酸性物質と反応し中和熱を発生する。  
すず、亜鉛などの金属と反応し、爆発性のある水素ガスを発生する。
- 化学的安定性 : 含有している次亜塩素酸塩は徐々に分解し、特に高温下・射光下では分解が促進される。  
金属あるいは有機性物質との共存下では不安定であり、分解が促進される。
- 危険有害反応可能性 : データなし。
- 避けるべき条件 : 酸性物質との接触、直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態。
- 混触危険物質 : すず、亜鉛などの金属類  
アルミニウム、銅・銅合金などは指定された濃度等以外での使用を避ける。
- 危険有害な分解生成物 : 酸性物質との反応により発生する塩素ガス。

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 (経口) : 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした。LD50 ; > 2000 mg/kg
- 急性毒性 (経皮) : 使用原料の加算式判定の結果より、区分に該当しないとした。LD50 ; > 2000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入: ガス) : 区分に該当しない。
- 急性毒性 (吸入: 蒸気) : データ不足のため分類できない。
- 急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト) : データ不足のため分類できない。
- 皮膚腐食性/刺激性 : 製品のpHが11.5以上のため、区分1とした。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 製品のpHが11.5以上のため、区分1とした。
- 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。
- 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
- 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
- 発がん性 : データ不足のため分類できない。
- 生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分2とした。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : データ不足のため分類できない。
- 誤えん有害性 : データなし。

## 12. 環境影響情報

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 使用原料の加算式判定の結果より、区分1とした。
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 使用原料の加算式判定の結果より、区分1とした。
- 生態毒性 : 流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。
- 残留性・分解性 : 混合物としての知見なし。
- 生体蓄積性 : 混合物としての知見なし。
- 土壤中の移動性 : 混合物としての知見なし。
- オゾン層への有害性 : 混合物としての知見なし。

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

### 1 4. 輸送上の注意

国内規制

国内法規制

次の輸送に関する国内法規に該当するので、定められている輸送方法に従う。

危険物船舶運送及び貯蔵規則

輸送の特定の安全対策および条件

- ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
- ・荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- ・酸と接触すると有害な塩素ガスが発生するので、積載にあたっては酸性物質との接触を避ける。
- ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
- ・水濡れを避ける。

### 1 5. 適用法令

消防法	：危険物	：該当せず
毒物劇物取締法	：毒物、劇物	：該当せず
労働安全衛生法	：通知対象物（第57条の2）	：政令番号316 水酸化カリウム(約1.0～5.0%含有)
PRTR法	：第一種指定化学物質	：該当せず
	：第二種指定化学物質	：該当せず

### 1 6. その他の情報

引用文献等

- \* 1：財団法人バイオインダストリー協会：アルコールハンドブック第9版(1997)  
その他自社及び外部機関による確認データ

注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づくものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、この情報は法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。